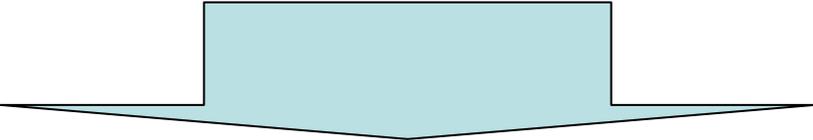


# K I A I の新たな出発に向けて

平成22年6月23日  
宮崎地域インターネット協議会  
アボック株式会社  
長友 信裕

# K I A I の成果

- 九州広域でのICT連携活動の核
- 九州7県の地域特性の把握
- ICT関係者の距離が縮まった
- PBLの実践
- 広域連携実証事業の実績
  - GIS , MCU , TV会議, バルーン



九州広域情報ハイウェイ構想  
広域情報連携サービス構想

# 活動実績 20年度

九州広域での危機管理体制確立のための情報通信（ICT）プラットフォーム構築に関する調査検討  
（九州総合通信局）

## 複数の県における危機管理情報の広域共有化実験



# 実証実験 1 . 実施風景



ハイビジョンテレビ会議システムを用いた両県間のコミュニケーション

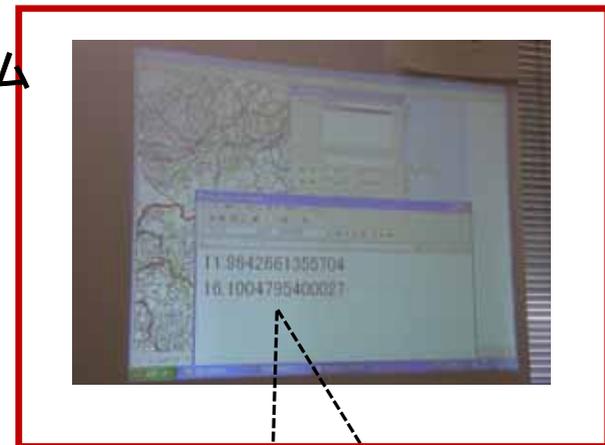


大分県

宮崎県



家畜防疫マップシステム  
P C 画面の情報共有化  
(地図上に対象養鶏場、  
移動禁止区域等を表示)



意見： 現在県を越えて防疫情報連携するための明確なガイドラインは無い  
情報開示共有の粒度など自治体間のコンセンサ作りが必須  
発生ポイントの座標交換は制限区域の正確な設定に有効である  
しかし、農場情報は個人情報にあたるので現時点で共有することは目的外使用に当たり困難

# 九州広域ICTプラットフォーム 調査研究 20年度実証実験(2)

条件不利地域で発生した災害における  
現場周辺での臨時的なインターネット  
環境の構築を可能にする仕組みを検証

無線LAN機能付  
小型バルーン

最寄の役場  
(インターネット接続中継拠点)

宮崎情報  
ハイウェイ  
21

インターネット

Webアクセス

【仮想対策本部】

無線LAN網

携帯通信網

Mobile  
アクセス

対策本部への帰還  
前に、全ての報告  
データの送信を可能  
にする仕組みを検証

災害現場に必要な  
情報収集後、直ちに【仮想発生現場】  
対策本部へ移動

【データ送信機能付 仮想公用車】

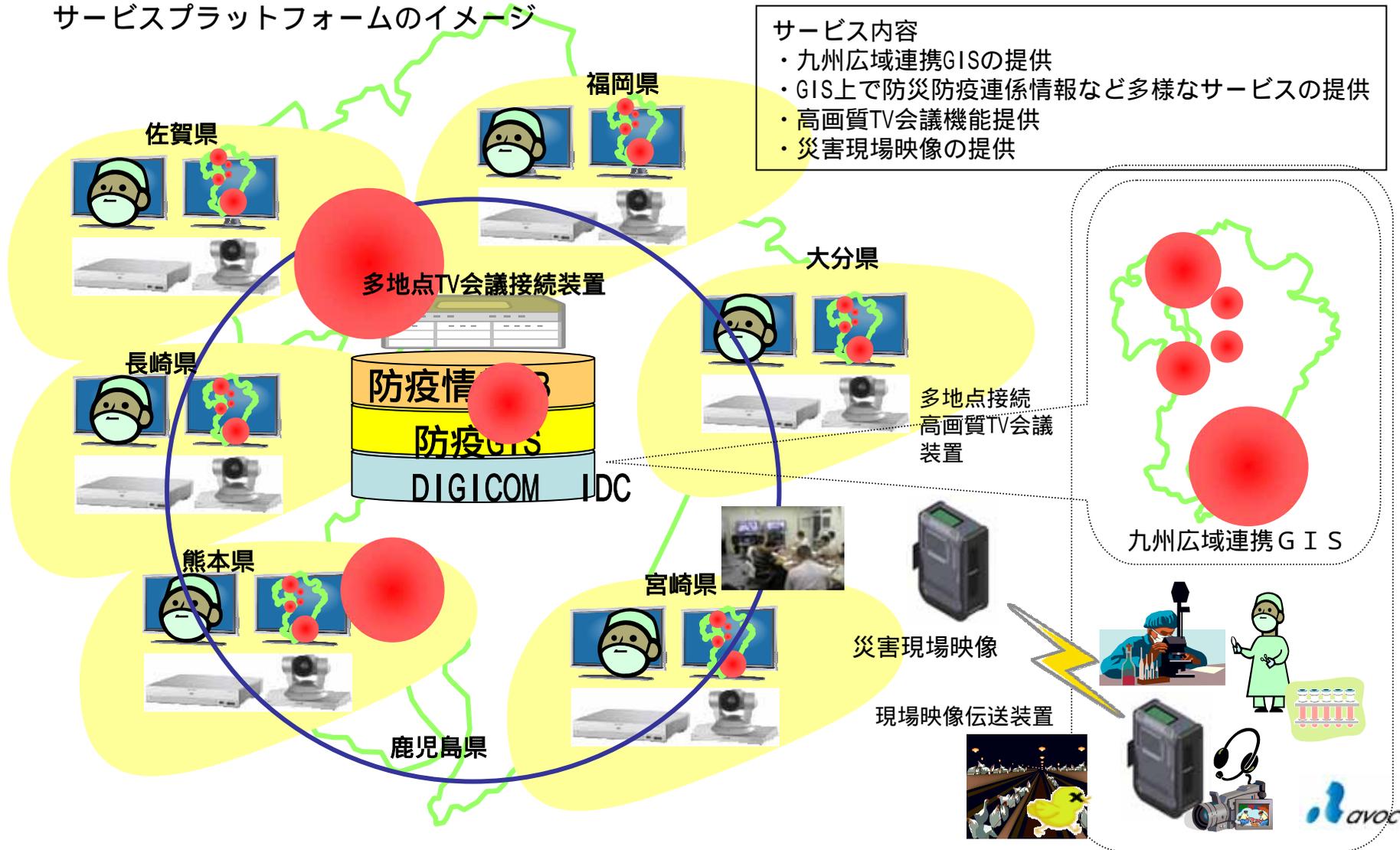
移動中の公用車内において、収集データ  
の内容を整理し、適宜対策本部サーバー  
へアップしていく

無線LANエリア通過中に送信できなかった  
データは携帯通信エリア内に入った段階で  
自動的にデータ通信を開始

# 活動実績 21年度

感染拡大を防ぐ九州広域防災情報サービスプラットフォームの構築  
 平成21年度総務省ICT経済・地域活性化基盤確立事業(ユビ特区事業)総務省

サービスプラットフォームのイメージ



## 想定状況

九州広域に被害を及ぼす  
家畜伝染病の感染拡大  
大型台風通過

## 各県協力状況

県庁	情報担当部署	防疫担当部署	防災担当部署
福岡県庁	情報政策課	消防防災課	畜産課
佐賀県庁	情報・業務改革課	消防防災課	畜産課
長崎県庁	情報政策課	危機管理防災課	畜産課
熊本県庁	情報企画課	危機管理・防災消防総室	農林水産政策課
大分県庁	情報政策課	防災危機管理課	家畜衛生飼料室
宮崎県庁	情報政策課	消防保安課	畜産課
鹿児島県庁	情報政策課	危機管理防災課	畜産課

実証実験 2010/2/10



佐賀県庁



福岡県庁



7県接続画面



長崎県庁



IDCのサーバ（佐賀）



大分県庁



熊本県庁



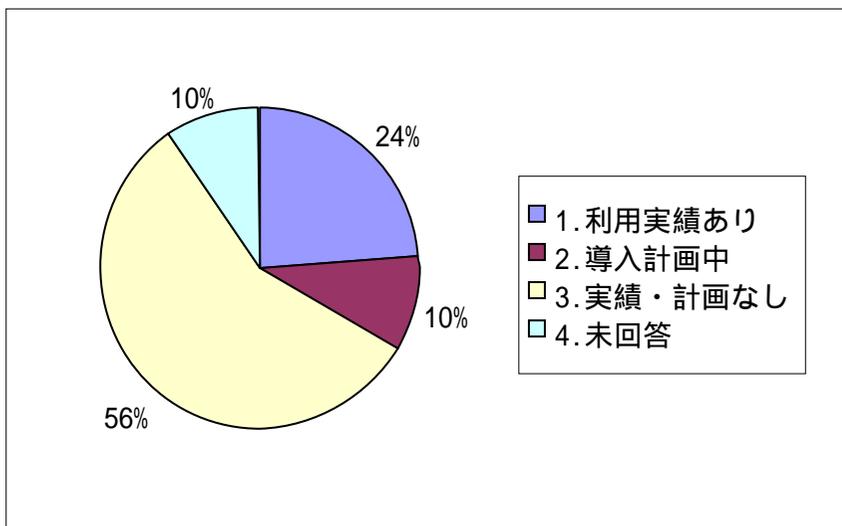
鹿児島県庁



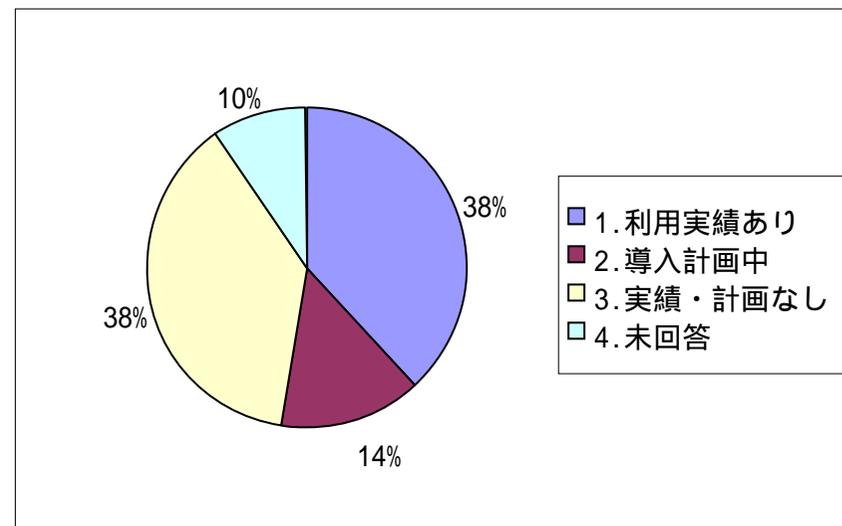
宮崎県庁

# アンケート結果

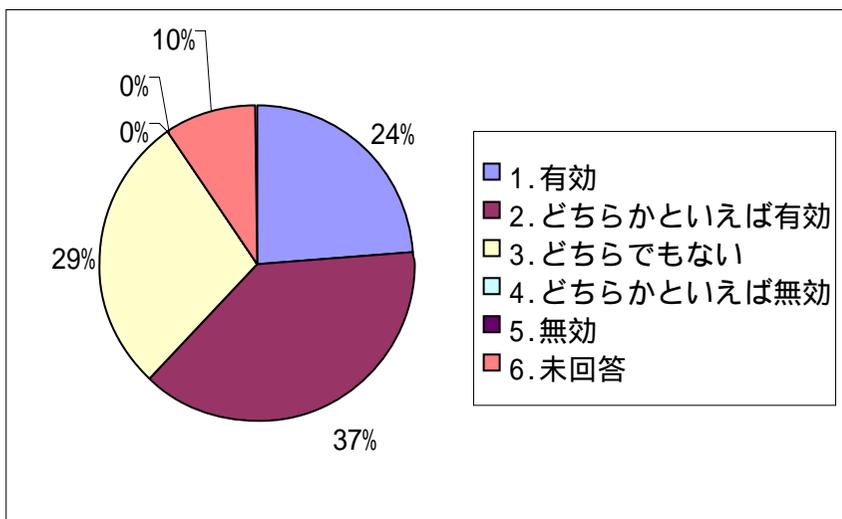
問：TV会議の利用状況



問：GISの利用状況



問：システム全体の連携有効性



問：システム投資目安/月額

【TV会議システム利用月額】

0円～20,000円

【防災・防疫GIS利用月額】

3,000円～10,000円

【遠隔画像伝送装置利用月額】

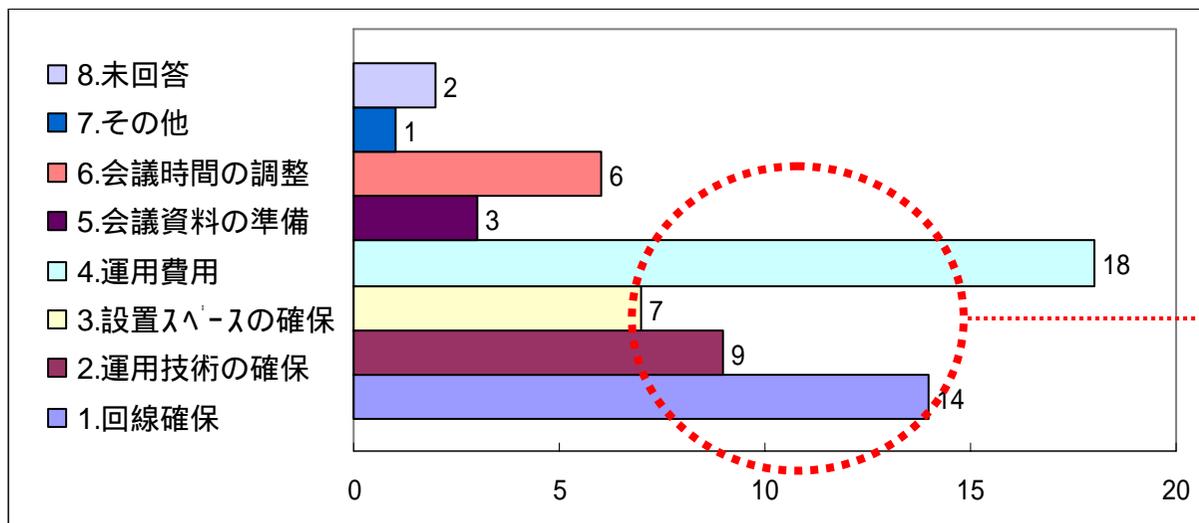
200円～10,000円

# ビジネスモデルの試算

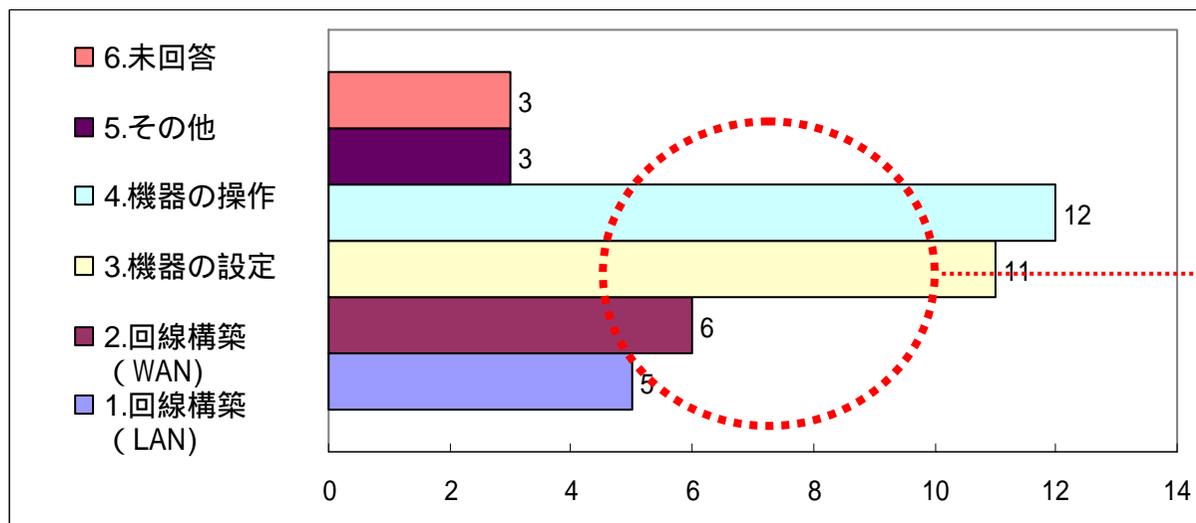
ターゲット市場	九州管内母数	提供サービス	個別シェア	年間売り上げ (千円)
<b>県・国</b> (防災・防疫・医療・福祉・教育・・・)	50	統合GIS	20%	600
		TV会議	20%	600
市町村	250	統合GIS	40%	6,000
		TV会議	40%	6,000
消防関連機関	150	統合GIS	10%	900
		TV会議	10%	900
医療関連機関	1,500	統合GIS	5%	4,500
		TV会議	5%	4,500
家畜防疫関連機関	30	統合GIS	50%	900
		TV会議	30%	900
教育関連機関	5,000	統合GIS	5%	15,000
		TV会議	5%	15,000
			全体シェア6.62%	55,440

# アンケート結果

問：TV会議を運用する上での問題点



問：TV会議を運用する上で期待される支援



K I A Iの支援対象

# 自治体職員の意見

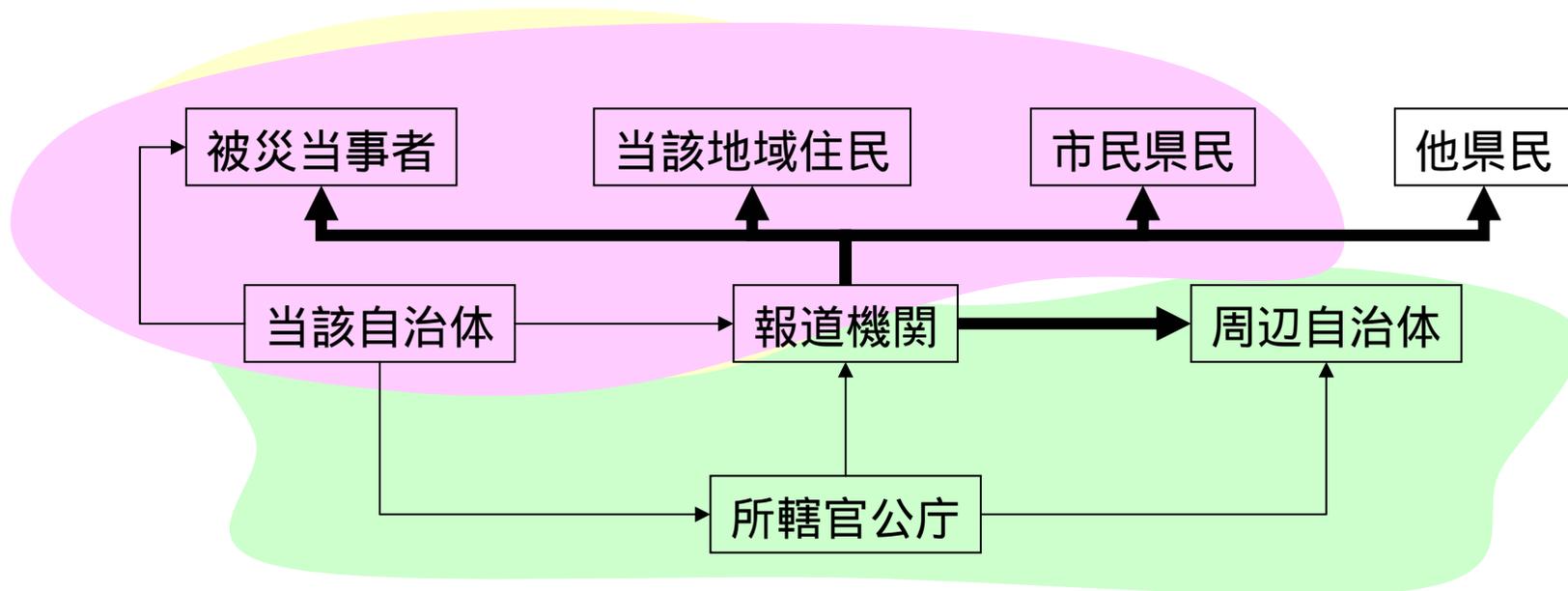
アンケートに寄せられた声

寄せられた意見の中に本事業の克服する課題が見えてくる。

- ・ 現場情報については個人情報漏えいや風評被害への配慮が必要。
- ・ 災害発生時点には対策に追われ防災情報共有のための作業を行う余裕がない
- ・ 業務システムとして利用するための人的資源が割きづらい状況がある
- ・ 災害時県同士が連携して会議を開くことは今まで無かった
- ・ 費用対効果が見出しにくい
- ・ 連携するならば国や市町村、関係機関まで連携しないと効果が出ない一方本事業が効果的に利活用できるスキームも見えてきた。
- ・ 災害現場の様子がリアルタイムで把握できるメリットは大きい
- ・ TV会議システムは相對会議の代替になりうる
- ・ 県・市町村間でGISを使って災害情報を共有するメリットは大きい

# 実験直後に口蹄疫感染拡大！

今回の宮崎県における口蹄疫感染拡大に思うこと……



## 災害発生時の情報マネジメント検証が必要

現場は封じ込め作業に終われ人手不足  
被災者自身も報道情報以外が伝わってこない  
注意喚起などの地域を限定した情報伝達手段の未整備  
防疫協力を促す情報が不足  
周辺自治体は正確な情報が欲しいが伝わってこない



地域限定情報の提供

協力喚起情報の提供

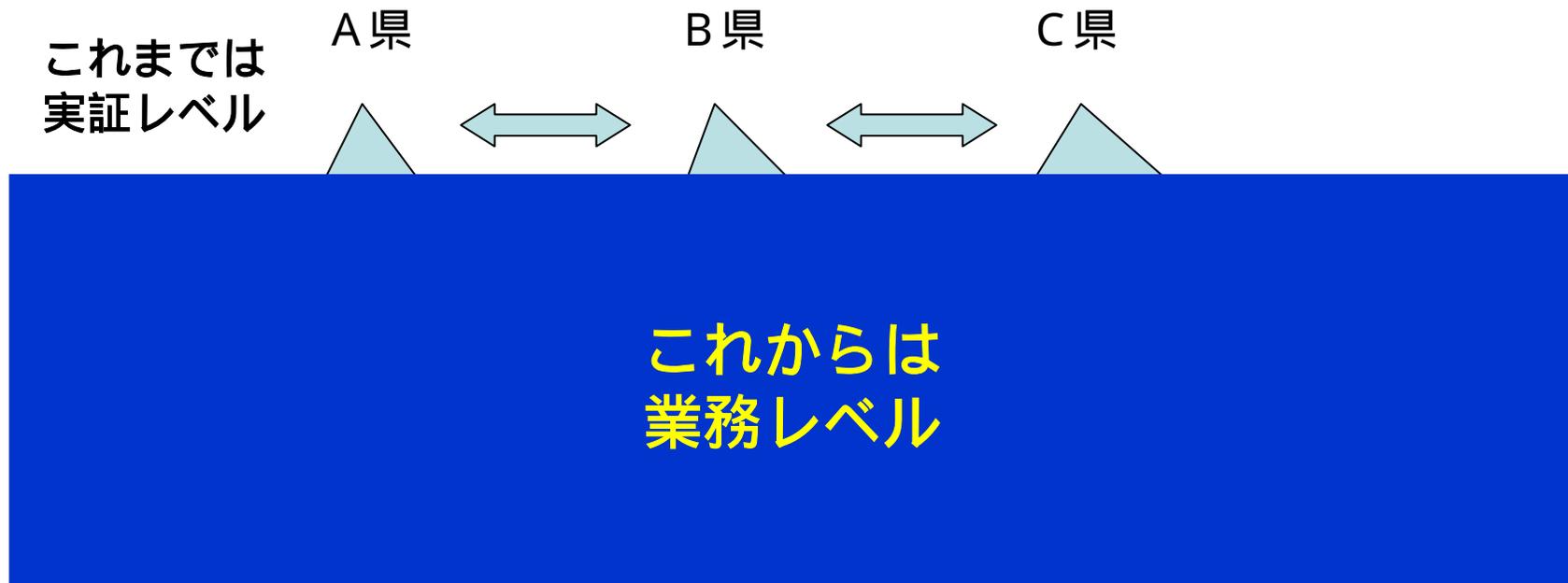
広域連係情報の提供

# 法人・K I A Iへの期待と課題

防災ポータルや広域T V会議推進におけるK I A I事業

- ・行政を介して地域住民の安全安心に寄与する

I C T分野における九州広域連携プロトコル作り支援



皆さん これからも一緒にKIAIを盛り上げてまいりましょう！

ご清聴ありがとうございます。